



医師
玉田 潤平

痴呆

最近物忘れが多くなりボケが始まったのではないかと心配になることがありますか？誰でも年をとることによって、若いときに比べると多少の物忘れはあるものです。しかし痴呆になると食事の内容だけでなく食事をしたこと自体を忘れてたり、財布を失くしたのを他人のせいにして盗られたと騒いだり、帰り道が分からなくなり徘徊してしまうなどの症状があらわれ、しかも自分がボケたことの自覚が無く作り話でごまかしたり、他人のせいにしてたりするようになります。

正常な老化

人の名前や物の名前を、度忘れしたり勘違いすることがありますが、自分で自覚していて、日常生活や仕事をする上で支障がないのが特徴です。

頭の病気 について

治せる痴呆

なんらかの原因があって起こるもので、それを治療すれば痴呆も治ります。ほとんどが短期間で起こり数週間～数日位前からどうもおかしいと気付きます。

慢性硬膜下血腫・・・軽く頭を打ってから1～3ヶ月後に痴呆やフラツキがでてきます。CTスキヤンで診断し、局所麻酔で手術ができ割合簡単に治ります。

ほかにも脳腫瘍や水頭症、甲状腺ホルモンの異常、うつ病などでも痴呆症状が現れます。最近急にボケてきたといった場合には、検査をすることが必要です。

脳血管性痴呆

脳梗塞などが繰り返され、脳の機能が徐々に失われて起こります。高血圧や糖尿病、肥満など普段から注意して、再発を予防したり、脳循環改善剤などを服用します。

アルツハイマー型痴呆

原因ははっきり分かっていませんが、少しずつ進行します。治せる痴呆と違って半年くらい前よりなんとなく悪くなってきたなど感じられます。しかし確実に進行します。多くはMRIやCTスキャンをすると脳の萎縮が認められます。決定的な治療法はありませんが、最近症状を一時的に良くしたり進行を遅らせる薬ができました。早めに服用するとよいでしょう。

パーキンソン病

脳内にある物質が低下して起こる病気です。多くは50歳以上の人で、片方の手のふるえから始まり反対側の手や足にもひろがります。これらのふるえは安静にしている時に起こるもので手が膝の上であればふるえませんが持ち上げると止まります。その後動作が遅くなる、身体が前かがみになって小刻み歩行になる、表情に乏しくなるなどの症状が加わり進行していきます。同じような症状が脳梗塞やある種の薬剤でおこる場合もあります。受診する時には、飲んでいる薬を持ってきて頂いたほうがよいでしょう。治療は飲み薬で行われます。副作用があることも多く、症状の強さや種類に応じて薬

を調節する必要があり、医者と気長に付き合うつもりで治してゆきましょう。

あまり知られていないようですが、次の病気は脳外科の手術で治る場合もあります。

顔面麻痺

片方のまぶたや唇がピクピクと痙攣してしまう。

三叉神経痛

片方の顔面に時々すごい痛みが走る。

不随意運動

手がふるえて字が書けなくなったり、コップの水がこぼれたり、ひどい場合には自分の意思と関係なく手足や首が勝手に投げ出されるように動いてしまい日常生活に支障をきたす。

このような症状でお困りの方は一度脳外科で相談してはどうでしょうか？